

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	無期限（2016年7月1日設定）	
運用方針	<p>ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国の米ドル建ての公社債に投資を行い、JPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し公社債の実質投資比率が100%を超える場合があります。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、新興国の米ドル建ての公社債に直接投資することがあります。
	マザーファンド	新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

**eMAXIS**  
 イーマックス

### eMAXIS 新興国債券 インデックス（為替ヘッジあり）

第5期（決算日：2021年1月26日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「eMAXIS 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり）」は、去る1月26日に第5期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

**MUFG**

三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

eMAXIS専用サイト <https://emaxis.jp/>

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			J Pモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス (円ヘッジ・円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落	期 中 騰 落	中 率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2016年7月1日	10,000	—	—	12,304.53	—	—	—	1
1期(2017年1月26日)	9,775	0	△2.3	12,025.51	△2.3	90.6	—	39
2期(2018年1月26日)	10,190	0	4.2	12,581.97	4.6	94.7	—	309
3期(2019年1月28日)	9,721	0	△4.6	12,119.25	△3.7	98.0	—	377
4期(2020年1月27日)	10,419	0	7.2	12,874.33	6.2	97.8	—	585
5期(2021年1月26日)	10,161	0	△2.5	13,332.85	3.6	98.7	—	873

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) J Pモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している流動性の高い米ドル建ての新興国債のパフォーマンスを表す指数です。同指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。J Pモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJ Pモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン・エマージング・ マーケット・ボンド・ インデックス・プラス (円ヘッジ・ 円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2020年 1月27日	円 10,419	% —	12,874.33	% —	% 97.8	% —
1月末	10,512	0.9	12,996.95	1.0	98.6	—
2月末	10,505	0.8	13,007.78	1.0	96.7	—
3月末	8,895	△14.6	11,518.11	△10.5	98.2	—
4月末	8,956	△14.0	11,645.25	△ 9.5	97.3	—
5月末	9,597	△ 7.9	12,466.53	△ 3.2	98.3	—
6月末	9,749	△ 6.4	12,677.03	△ 1.5	97.9	—
7月末	10,014	△ 3.9	13,060.26	1.4	94.8	—
8月末	10,070	△ 3.3	13,124.77	1.9	97.1	—
9月末	9,814	△ 5.8	12,840.39	△ 0.3	98.3	—
10月末	9,800	△ 5.9	12,841.58	△ 0.3	97.6	—
11月末	10,185	△ 2.2	13,366.22	3.8	97.0	—
12月末	10,338	△ 0.8	13,558.37	5.3	96.7	—
(期 末) 2021年 1月26日	10,161	△ 2.5	13,332.85	3.6	98.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

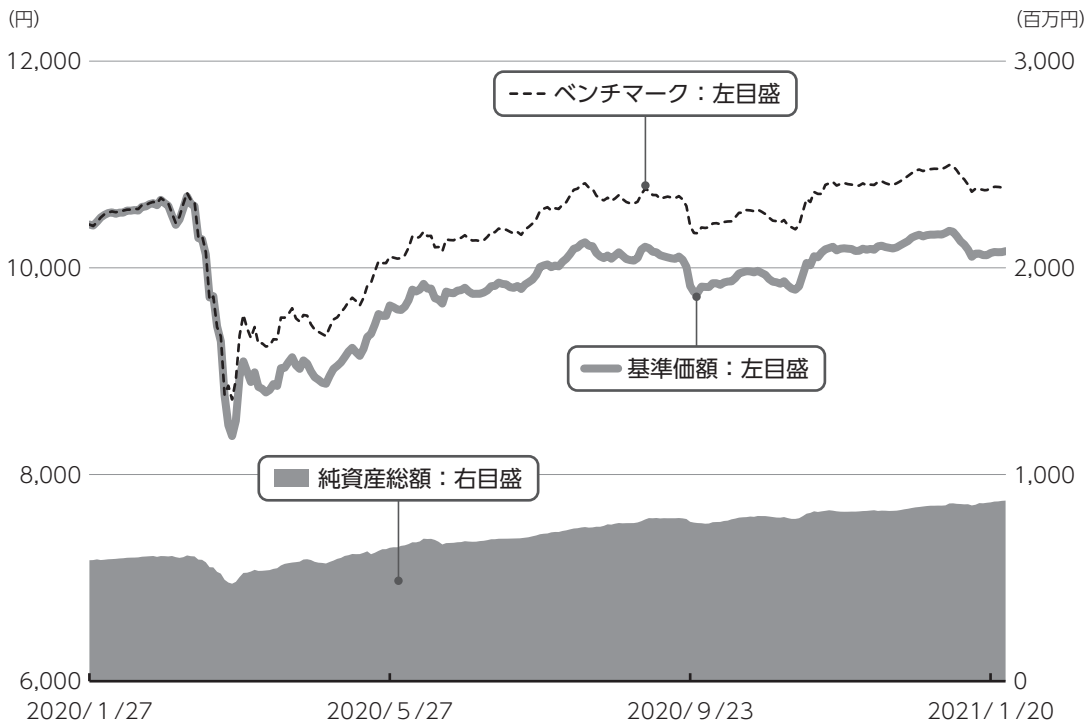
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第5期：2020年1月28日～2021年1月26日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第5期首	10,419円
第5期末	10,161円
既払分配金	0円
騰落率	-2.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.5%の下落となりました。

### ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（3.6%）を6.1%下回りました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

### 下落要因

市場の流動性が低下した中で、取引コストが大きく発生したことが、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**新興国の米ドル建て債券市況は上昇しました。**

2020年3月中旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界的に保有資産の資金化の動きが強まったことなどから下落しましたが、その後、世界的な金融緩和スタンスなどを背景に上昇し、期を通じてみると上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ eMAXIS 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり）

資産のほぼ全額をマザーファンドに投資したことにより、基準価額はマザーファンドとほぼ同様の推移となりました。

### ▶ ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド

新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。

組入外貨建資産については、ベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### ▶ eMAXIS 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり）

ベンチマークとの乖離は△6.1%程度となりました。

#### マザーファンド保有以外の要因

ファンドの管理コスト等による影響は△0.6%程度でした。

#### マザーファンド保有による要因

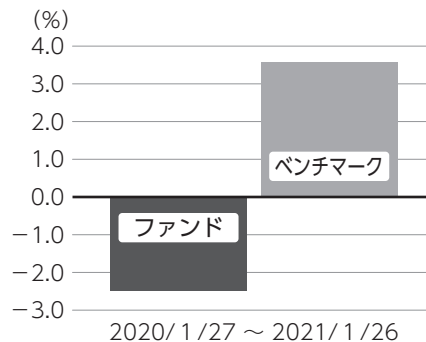
マザーファンド保有による影響は△5.5%程度でした。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因：**ポートフォリオ要因によるものです。

**主なマイナス要因：**取引要因によるものです。

### 基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第5期 2020年1月28日～2021年1月26日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,822

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ eMAXIS 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり）

マザーファンドの組入比率を高位に維持する方針です。

### ▶ ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。組入外貨建資産については、原則としてベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行います。



2020年1月28日～2021年1月26日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	65	0.658	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(29)	(0.296)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(29)	(0.296)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0.066)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	8	0.078	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(7)	(0.074)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	73	0.736	

期中の平均基準価額は、9,893円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

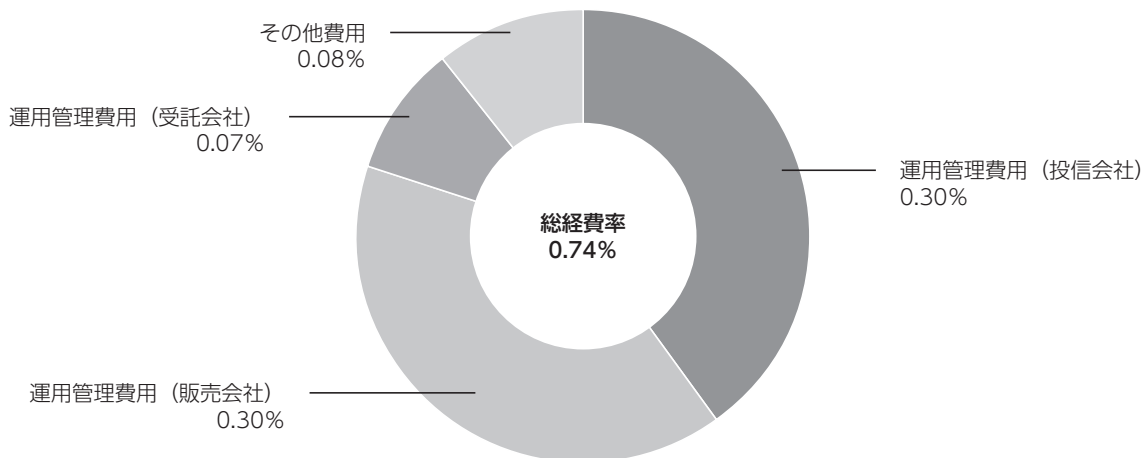
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.74%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年1月28日～2021年1月26日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド	千口 342,294	千円 396,805	千口 95,658	千円 111,265

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年1月28日～2021年1月26日)

## 利害関係人との取引状況

< eMAXIS 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり） >  
該当事項はございません。

## &lt;ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	48,719	37,133	76.2	51,225	39,666	77.4
為替直物取引	12,062	11,989	99.4	9,461	9,335	98.7

平均保有割合 21.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2021年1月26日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド	千口 472,484	千口 719,120	千円 873,587

## ○投資信託財産の構成

(2021年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド	千円 873,587	% 99.3
コール・ローン等、その他	6,124	0.7
投資信託財産総額	879,711	100.0

(注) ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（4,033,634千円）の投資信託財産総額（4,322,554千円）に対する比率は93.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=103.77円			
-----------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年1月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	879,711,339
コール・ローン等	6,123,879
ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド(評価額)	873,587,460
(B) 負債	5,893,280
未払解約金	3,236,278
未払信託報酬	2,641,216
未払利息	1
その他未払費用	15,785
(C) 純資産総額(A-B)	873,818,059
元本	860,007,579
次期繰越損益金	13,810,480
(D) 受益権総口数	860,007,579口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,161円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 561,770,349円  
 期中追加設定元本額 593,740,661円  
 期中一部解約元本額 295,503,431円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0161円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2020年1月28日～ 2021年1月26日
費用控除後の配当等収益額	28,703,600円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	102,048,501円
分配準備積立金額	25,989,931円
当ファンドの分配対象収益額	156,742,032円
1万口当たり収益分配対象額	1,822円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## ○損益の状況（2020年1月28日～2021年1月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 746
受取利息	14
支払利息	△ 760
(B) 有価証券売買損益	11,714,407
売買益	17,002,590
売買損	△ 5,288,183
(C) 信託報酬等	△ 4,679,530
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	7,034,131
(E) 前期繰越損益金	14,893,197
(F) 追加信託差損益金	△ 8,116,848
(配当等相当額)	( 100,244,155)
(売買損益相当額)	(△108,361,003)
(G) 計(D+E+F)	13,810,480
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	13,810,480
追加信託差損益金	△ 8,116,848
(配当等相当額)	( 102,048,501)
(売買損益相当額)	(△110,165,349)
分配準備積立金	54,693,531
繰越損益金	△ 32,766,203

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド

### 《第7期》決算日2020年3月25日

[計算期間：2019年3月26日～2020年3月25日]

「ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド」は、3月25日に第7期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とし、J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。 対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し公社債の投資比率が100%を超える場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。
主 要 運 用 対 象	新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 総 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
3期(2016年3月25日)	10,961	2.7	11,615.35	4.4	94.6	—	879
4期(2017年3月27日)	11,727	7.0	12,333.36	6.2	93.5	—	679
5期(2018年3月26日)	11,590	△ 1.2	12,210.04	△ 1.0	96.3	—	3,480
6期(2019年3月25日)	11,627	0.3	12,246.74	0.3	96.6	—	2,879
7期(2020年3月25日)	10,136	△12.8	11,018.78	△10.0	98.8	—	1,087

(注) J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している流動性の高い米ドル建ての新興国債のパフォーマンスを表す指数です。同指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）とは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJ Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン・エマージング・ マーケット・ボンド・ インデックス・プラス (円ヘッジ・ 円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年3月25日	円	%		%	%	%
3月末	11,627	—	12,246.74	—	96.6	—
4月末	11,647	0.2	12,257.45	0.1	96.1	—
5月末	11,542	△0.7	12,115.40	△1.1	97.3	—
6月末	11,674	0.4	12,263.05	0.1	96.7	—
7月末	12,114	4.2	12,736.94	4.0	96.3	—
8月末	12,289	5.7	12,784.68	4.4	96.7	—
9月末	11,968	2.9	12,468.96	1.8	95.4	—
10月末	11,969	2.9	12,430.99	1.5	99.7	—
11月末	11,928	2.6	12,413.89	1.4	98.5	—
12月末	11,997	3.2	12,479.42	1.9	99.1	—
2020年1月末	12,260	5.4	12,764.33	4.2	96.5	—
2月末	12,496	7.5	12,996.95	6.1	98.6	—
3月末	12,493	7.4	13,007.78	6.2	96.7	—
(期 末) 2020年3月25日	円	%		%	%	%
	10,136	△12.8	11,018.78	△10.0	98.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

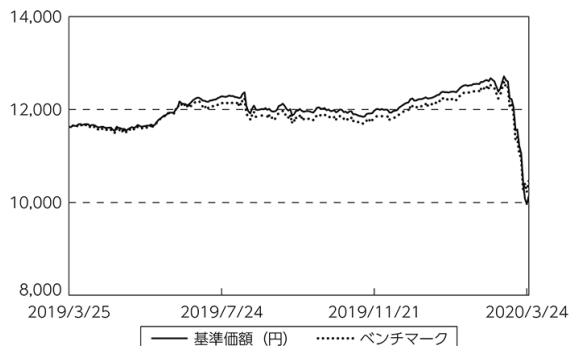
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ12.8%の下落となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−10.0%)を2.8%下回りました。

## 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

**● 基準価額の主な変動要因**

(下落要因)

ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

**● 投資環境について****◎ 債券市況**

新興国の米ドル建て債券市況は下落しました。

- ・ 新興国の米ドル建て債券市況は、米中貿易協議の進展等を背景に投資家心理が改善したこと等を受けて上昇基調で推移しましたが、その後新型コロナウイルスの感染拡大等によるリスク回避的な動きが急速に強まったことから期末にかけて急落し、期首との比較では下落しました。

**● 当該投資信託のポートフォリオについて**

- ・ 新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・ 期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。
- ・ 組入外貨建資産については、ベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行いました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について  
ベンチマークは10.0%の下落になったため、乖離は△2.8%程度となりました。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ ポートフォリオ要因によるものです。

(主なマイナス要因)

- ・ 取引要因によるものです。

**○ 今後の運用方針**

- ・ ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・ 組入外貨建資産については、原則としてベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行います。



## ○1万口当たりの費用明細

(2019年3月26日～2020年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(8)	(0.070)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	8	0.071	
期中の平均基準価額は、12,005円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年3月26日～2020年3月25日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 78,911	千アメリカドル 89,433

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月26日～2020年3月25日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	42,731	30,292	70.9	40,965	29,492	72.0
為替直物取引	8,561	7,842	91.6	9,907	7,497	75.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2020年3月25日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	10,550	9,663	1,074,173	98.8	29.6	76.4	22.4	—
合 計	10,550	9,663	1,074,173	98.8	29.6	76.4	22.4	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債 権 年 月 日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円			
国債証券	11.875	TURKEY 300115	11.875	310	373	41,469	2030/1/15
	3.6	MEXICO 250130	3.6	200	196	21,844	2025/1/30
	3.875	COLOMBIA 270425	3.875	600	555	61,797	2027/4/25
	3.95	PHILIPPINE 400120	3.95	200	202	22,533	2040/1/20
	4	MEXICO 231002	4.0	220	217	24,194	2023/10/2
	4.25	BRAZIL 250107	4.25	200	205	22,871	2025/1/7
	4.375	RUSSIA 290321	4.375	400	426	47,392	2029/3/21
	4.5	PANAMA 470515	4.5	200	199	22,211	2047/5/15
	4.625	ARGENTINA 230111	4.625	440	117	13,022	2023/1/11
	4.625	BRAZIL 280113	4.625	200	205	22,793	2028/1/13
	4.665	REPUBLIC OF 240117	4.665	200	187	20,842	2024/1/17
	4.75	INDONESIA 260108	4.75	400	408	45,380	2026/1/8
	4.75	MEXICO 440308	4.75	630	589	65,500	2044/3/8
	5	BRAZIL 450127	5.0	200	178	19,793	2045/1/27
	5.125	ROMANIA 480615	5.125	100	99	11,079	2048/6/15
	5.125	TURKEY 280217	5.125	200	164	18,339	2028/2/17
	5.25	INDONESIA 470108	5.25	200	202	22,537	2047/1/8
	5.25	RUSSIA 470623	5.25	400	474	52,753	2047/6/23
	5.5	PHILIPPINE 260330	5.5	200	217	24,155	2026/3/30
	5.55	MEXICO 450121	5.55	190	198	22,024	2045/1/21
	5.625	COLOMBIA 440226	5.625	400	396	44,077	2044/2/26
	5.625	PERU 501118	5.625	130	171	19,079	2050/11/18
	5.65	SOUTH AFRICA 470927	5.65	200	140	15,617	2047/9/27
	5.75	HUNGARY 231122	5.75	300	329	36,659	2023/11/22
	5.75	MEXICO 101012	5.75	270	261	29,121	2110/10/12
	5.75	TURKEY 240322	5.75	200	184	20,536	2024/3/22

銘柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
国債証券	5.75 TURKEY 470511	5.75	200	145	16,218	2047/5/11
	6.125 COLOMBIA 410118	6.125	100	106	11,818	2041/1/18
	6.125 TURKEY 281024	6.125	200	172	19,214	2028/10/24
	6.35 TURKEY 240810	6.35	400	373	41,567	2024/8/10
	6.375 PHILIPPINE 341023	6.375	200	248	27,603	2034/10/23
	6.55 PERU 370314	6.55	50	65	7,275	2037/3/14
	6.75 INDONESIA 440115	6.75	200	242	26,947	2044/1/15
	6.75 MEXICO 340927	6.75	50	63	7,092	2034/9/27
	6.875 ARGENTINA 270126	6.875	760	193	21,459	2027/1/26
	7.125 PANAMA 260129	7.125	100	116	12,920	2026/1/29
	7.375 TURKEY 250205	7.375	40	38	4,308	2025/2/5
	7.375 UKRAINE 320925	7.375	200	155	17,282	2032/9/25
	7.625 ARGENTINA 460422	7.625	190	46	5,128	2046/4/22
	7.625 HUNGARY 410329	7.625	20	28	3,201	2041/3/29
	7.75 INDONESIA 380117	7.75	100	128	14,255	2038/1/17
	7.75 UKRAINE 240901	7.75	200	167	18,596	2024/9/1
	8.75 BRAZIL 250204	8.75	140	169	18,869	2025/2/4
	9.375 PANAMA 290401	9.375	40	54	6,074	2029/4/1
	9.5 PHILIPPINE 300202	9.5	170	240	26,709	2030/2/2
合 計					1,074,173	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2020年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,074,173	44.5
コール・ローン等、その他	1,341,152	55.5
投資信託財産総額	2,415,325	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,229,130千円) の投資信託財産総額 (2,415,325千円) に対する比率は50.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=111.16円		
------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,581,741,523
コール・ローン等	1,159,889,651
公社債(評価額)	1,074,173,313
未収入金	1,330,872,124
未収利息	9,485,463
前払費用	7,320,972
(B) 負債	2,494,353,054
未払金	1,242,482,030
未払解約金	1,251,870,439
未払利息	585
(C) 純資産総額(A-B)	1,087,388,469
元本	1,072,788,155
次期繰越損益金	14,600,314
(D) 受益権総口数	1,072,788,155口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,136円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 2,476,313,355円  
 期中追加設定元本額 7,374,560,722円  
 期中一部解約元本額 8,778,085,922円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0136円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

e MAX I S 新興国債券インデックス(為替ヘッジあり)	474,284,632円
ヘッジ付新興国債券インデックスファンド	382,319,731円
MUKAM バランスファンド2019-12(適格機関投資家限定)	216,183,792円
合計	1,072,788,155円

## ○損益の状況 (2019年3月26日～2020年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	149,235,811
受取利息	149,290,828
支払利息	△ 55,017
(B) 有価証券売買損益	△ 607,943,686
売買益	579,250,808
売買損	△1,187,194,494
(C) 保管費用等	△ 1,970,082
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 460,677,957
(E) 前期繰越損益金	402,964,956
(F) 追加信託差損益金	1,559,600,478
(G) 解約差損益金	△1,487,287,163
(H) 計(D+E+F+G)	14,600,314
次期繰越損益金(H)	14,600,314

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。